

令和7年度 海部地方総合防災訓練実施細目

実施時間	訓練項目	訓練内容	実施機関・団体名	訓練参加車両等
●開会				
1 8:40~8:59	集合整列	訓練参加者は本部席前の集合線にある中隊名のブラカード位置に、各訓練中隊ごとに整列する。 訓練部隊長の紹介・あいさつ及び副部隊長の紹介。 訓練副部隊長は各中隊長からの人員報告を受ける。	訓練参加者	
2 8:59~9:00	開会式	訓練部隊長は訓練本部長に対し人員報告をする。	訓練参加者	
3 9:00	訓練開始宣言	訓練の開始を宣言する。(訓練開始ラッパ)	海部地区水防事務組合	
●水害対応訓練				
1 9:01	台風・高潮情報提供	台風及び高潮に関する気象情報の提供。	名古屋地方気象台	
2 9:02~9:03	河川バトロール	木曾川の増水による大出水に備えて河川バトロール車により堤防を巡視する。	海部建設事務所	河川バトロール車
3 9:04~9:05	アマチュア無線による非常通信	災害状況報告及び災害現場からの応援要請の非常通信訓練を行う。	弥富防災HAMクラブ、愛西コミュニティHAMクラブ	通信車
4 9:05~9:10	避難誘導	バトカーを先導にして、警察官と消防団員による誘導と教師の引率のもと、中学生を安全な場所へ避難させる。	津島警察署、蟹江警察署、消防団、中学生	バトロールカー
5 9:10	訓練開始指示	(訓練開始ラッパ)	(訓練本部)	
6 9:10~9:40	土のう作り・土のう積み体験	消防団の指導のもと、中学生は土のう作りと土のう積み体験する。	消防団、市町村、中学生	
7 9:10~9:40	(1)改良積み土のうエ	堤防天端にシートや土のうを組み合わせて積むことにより、越水を防ぐ。(越水防止)	海部建設事務所、市町村、消防団	
7 9:10~9:40	(2)月の輪工	堤防のり面によりかかり、半円形に積み土俵にすることにより、漏水口の拡大を防ぎ、堤防の決壊を防止する。(漏水防止)	海部建設事務所、市町村、消防団	
7 9:10~9:40	(3)塗段工	堤防裏小段や堤防から離れて湧水する噴出口を中心に土のうを積み、水の噴出を止めることにより、堤防の決壊を防止する。(漏水防止)	海部建設事務所、市町村、消防団	
8 9:10~10:00	内水排除	河川堤防越水や集中豪雨等により出水した場合、強制排水を行うため、国土交通省排水ポンプ車の運転操作を行う。たん水防除訓練と連動(水の循環方式)させた実動訓練を海部農林水産事務所と合同で実施する。	国土交通省中部地方整備局木曾川下流河川事務所	排水ポンプ車・照明車
9 9:10~9:55	たん水防除	集中豪雨や地震等により出水した場合、たん水被害を受けた地域の強制排水を行うため、応急対策用可搬式排水ポンプを搬入し、運転操作を行う。内水排除訓練と連動させた実動訓練を国土交通省木曾川下流河川事務所と合同で実施する。	海部農林水産事務所、愛知県海部農薬土木研究会	指揮車・クレーン付トラック
10 9:10~9:40	舟艇組立	FRP製及びアルミ製ボート(舟艇)の組立訓練を行う。	消防団	FRP製舟艇・アルミ製舟艇
●地震対応訓練				
1 9:20~9:21	シェイクアウト訓練	シェイクアウトの基本行動を説明後、緊急地震速報のブザー音と音声ガイダンスを合図に地震から身を守る安全行動の1-2-3を実施する。	訓練参加者全員	
2 9:22	地震情報提供	地震に関する情報の提供。	名古屋地方気象台	
3 9:23~9:24	被害状況偵察	車両により地震による被害状況の偵察を行う。	陸上自衛隊	偵察オート
4 9:25~9:27	アマチュア無線による非常通信	災害状況報告及び災害現場からの応援要請による非常通信訓練を行う。	弥富防災HAMクラブ、愛西コミュニティHAMクラブ	通信車
5 9:15~9:30	初期消火(LPガス)	県LPガス協会西部支部及び海部地域の危険物安全協会の協力を得て、消防団員及び婦人会等は消火器を使用し、プロパンガスに係る初期消火活動を実施する。	県LPガス協会西部支部海部北・南分会、海部地域5危険物安全協会消防団、婦人会等	
5 9:15~9:30	初期消火(油)	海部地域の危険物安全協会の指導を得て、消防団員及び婦人会等は消火器を使用し、油火災に係る初期消火活動を実施する。	海部地域5危険物安全協会、消防団、婦人会等	
6 9:30~10:00	応急電話架設	大規模地震や豪雨等の災害により通信が途絶えたことを想定し、ポータブル衛星車の衛星通信を利用した特別公衆電話の開設を実施する。 また、避難者の方々の安否確認ツールである「災害用伝言ダイヤル171」のデモ機を展示し、体験利用を実施する。	西日本電信電話株式会社 東海支店	ポータブル衛星車
7 9:30~10:00	配電線応急復旧	電柱の倒壊や高圧線の断線に伴い広範囲にわたり停電が発生したことを想定し、応急復旧を行った被災地区へ電気を送電する。 また、復旧作業の終了後に投光器、回転灯を点滅させる。	中部電力パワーグリッド株式会社 津島営業所	高所作業車・発電機車
8 9:30~10:00	保健医療活動連携訓練	災害現場から救出された多数の傷病者の容態を災害拠点病院の医師が見極め、それに対応した救急告知病院などの医療機関に搬送する。軽症者が搬送される市町村が開設・運営する医療救護所では、医師会、歯科医師会及び薬剤師会の救護班による治療や投薬が行われる。患者搬送先の調整や不足する医師や医薬品の派遣や供給の要請などを津島保健所に設置される保健医療調整会議で行うなど、保健医療活動の連携に関する訓練を実施する。 医師会、歯科医師会及び薬剤師会は、各テントの啓発コーナーを訪れた中学生等住民に対し、避難生活における注意点の啓発を行うとともに、それぞれのテントで啓発展示を行う。	津島保健所、海部地域7市町村、津島市医師会、海部医師会、津島市歯科医師会、海部歯科医師会、津島海部薬剤師会、津島市民病院、あま市民病院、海南病院、消防団、婦人会、中学生等	災害支援緊急車両JDA-DAT号
9 9:30~10:00	心肺蘇生・災害時に役立つ技術	心肺蘇生練習人形を使用して、消防団員、婦人会等に対し、幼児と成人の心肺蘇生の指導を実施する。 ハンカチ、バンスト等を使ったケガの固定方法や毛布を使ったガウンの作り方など災害時に役立つ知識と技術を身につける。	日本赤十字社愛知県支部、消防団、婦人会等	

●共通の訓練					
1	9:10～10:10	炊き出し	避難住民への食事供給のため、大釜で「にゅうめん」の炊き出しを行う。	県LPガス協会西部支部海部北・南分会、消防団、婦人会、中学生等	
2	9:10～10:00 10:10～10:30	災害ボランティアセンターの開設・運営	海部地域ボランティアコーディネーターによる災害ボランティアセンターの開設及び運営について訓練する	県西部防災ボランティアコーディネーターネットワークの会、海部地域7社会福祉協議会・ボランティアコーディネーター、中学生	
3	9:30～9:35	給水訓練	被災地域に飲料水を供給するため、給水車による給水を行う。	海部南部水道企業団	給水車
4	9:35～10:00	緊急物資の輸送	緊急物資の車両輸送と物資の配布を行う。	あいち海部農業協同組合、中学生	燃料給油車
●特別訓練					
	10:10	訓練開始指示	(訓練開始ラッパ)	(訓練本部)	
1	10:10～10:15	アマチュア無線による災害通報	アマチュア無線による救助、救急、消火訓練への出動要請訓練を行う。	愛西コミュニティハムクラブ、弥富防災ハムクラブ	通信車
	10:15～10:25	道路啓開	瓦礫で通行不能となった主要道路を想定し、重機と人により瓦礫を取り除き、緊急車両を通行させるための道路啓開訓練を行う。	県津島土木研究会	各種消防車両・重機
	10:25～10:55	大規模災害訓練(救助・救急訓練) 大規模災害訓練(消火訓練)	海部地域常備5消防署をはじめとする各関係機関が、災害現場において連携して救助、救急、消火活動を展開して総合的な訓練を行う。 消火隊は、周辺建物から発した火災を消火鎮圧する。	海部地域常備5消防署(当番:海部東部消防本部)、津島警察署、蟹江警察署、災害警備犬部隊、津島市民病院、海南病院、陸上自衛隊、名古屋市消防航空隊、県警察航空隊、消防団、婦人会	各種消防車両・警察車両・自衛隊車両 医療機関車両 消防・県警ヘリコプター
●啓発訓練					
1	9:10～10:10	地震体験車・煙体験	地震体験車を使用して訓練参加者等に地震を体験してもらい、地震の恐ろしさや備えについて学習してもらう。また、煙体験ハウスを使用して、火災時の煙についても体験してもらう。	海部地域5危険物安全協会、中学生	地震体験車
2	8:40～ 随時	陸上自衛隊車両等の展示・啓発展示	陸上自衛隊が装備している車両等の展示及び災害派遣に係わる啓発展示を行う。	陸上自衛隊	高機動車・偵察オート・軽装甲機動車
3	8:40～ 随時	愛知県警察車両等の展示	愛知県警察が装備している車両等の展示を行う。	愛知県警察	多目的災害対策車 パトロールカー
4	9:10～10:00 10:10～10:30	災害対策展示	あいち防災リーダー会海部ブロックによるロープワーク等の指導及び防災用品の展示や家具転倒防止の方法、液状化実験装置の実演等災害に備えた啓発活動を行う。	あいち防災リーダー会海部ブロック	車中泊展示車両
●その他					
1	8:00～9:00 11:00～12:30	交通統制	消防団員等は、訓練会場への堤防道路及び会場周辺の道路等において、車両の安全な誘導を行う。	市町村、消防団	
2	8:40～ 随時	災害緊急放送	海部地域のコミュニティFM放送局「エフエフななみ」により、災害放送の訓練放送としてラジオ中継車で生放送を実施する。また、ケーブルテレビの「クローバーチャンネル」による訓練の取材も行う。	西尾張シーエーティーヴィ株式会社	ラジオ中継車
3	8:40～ 随時	救護所	訓練会場内での負傷者や体調不良者等の応急処置にあたる。	(訓練本部)	
4	9:00～11:05	訓練本部設置 訓練本部検討会	愛西市立田町福原地先の東海広場に訓練本部を設置し訓練本部長以下幹部は検討会を開き、関係機関及び参加機関は密接な連携の中で、災害応急対策の実施を指示する。	(訓練本部)	
5	9:25～9:55	訓練本部長巡視	訓練本部長等は各訓練参加機関・団体の訓練状況を巡視する。	本部長、副本部長、来賓	
6	随時	ラッパ隊吹鳴	開会・閉会、訓練開始・終了時において、消防団の礼式に従い、ラッパの吹鳴を行う。	愛西市消防団	
●閉会					
1	11:05～11:10	集合整列	訓練参加者は本部席前の集合線に中隊名のプラカードを持って、各訓練中隊ごとに整列する。	訓練参加者	
2	11:10～11:30	閉会式	訓練部長は訓練本部長に対し、人員等の異常の有無を報告する。訓練本部長による訓示・講評。主催者(水防組合管理者)あいさつ。来賓祝辞など	訓練参加者	
3	11:30～	訓練終了宣言	終了宣言後、各中隊長は編成を解く旨を指示して解散する。(解散ラッパ)	海部地区水防事務組合	